

(第1回) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 8 年 3 月 1 3 日
契 約 業 者 名	望月測量設計 (株)
契 約 業 者 の 住 所	南巨摩郡身延町梅平 2 4 8 3 - 7 4
業 務 の 名 称	R 7 東京都内自動車起終点調査業務
業 務 場 所	東京国道事務所管内
業 種 区 分	測量
業 務 概 要 (変更した内容について 記述する)	本業務は、道路整備状況や交通状況、道路計画を検討する際の基礎データとなる情勢を調査する、「全国道路・街路交通情勢調査」に基づく調査で、東京都内において自動車起終点調査 (OD 調査) を行い、その結果を取りまとめるものである。 1. 調査の準備 2. 調査の実施 3. 調査票の整理 4. 直接経費
履 行 期 間 (自)	令和 7 年 4 月 2 3 日
履 行 期 間 (至)	令和 8 年 3 月 3 1 日
変 更 前 の 契 約 金 額	2 4 1, 3 2 9, 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	+ 1 5 8, 7 4 1, 0 0 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	4 0 0, 0 7 0, 0 0 0 円 (税込み)
変 更 理 由	1. 調査の準備 1) 関係機関への調査協力依頼 当初は受注者から営業用車の各協会 (トラック、バス、タクシー) へ協力依頼を行う予定であったが、本省からの指定により協会への調査協力依頼は発注者が行うこととなり、受注者による対応が不要となったため減工する。 2) 調査に関するPR 当初は受注者にて調査に関するPRを行う予定であったが、本省からの指定により調査に関する広報は全国的に統一された内容で行われることとなり、受注者による対応が不要となったため減工する。 2. 調査の実施 1) 調査票等の調査物件の封入 (セット) 等 当初の時点では調査規模が決定していなかったため令和 3 年度に実施した前回調査の数量を参考に数量を設定したが、令和 7 年度の調査規模が決定した結果、当初数量では調査台数が不足して目標調査台数を達成できないため、令和 7 年度の調査規模に対応するため減工する。 2) 調査票等の調査物件の封入 (セット) 等 (1) 当初の時点では調査規模が決定していなかったため令和 3 年度に実施した前回調査の数量を参考に数量を設定したが、令和 7 年度の調査規模が決定した結果、当初数量では調査台数が不足して目標調査台数を達成できないため、令和 7 年度の調査規模に対応するため新規増工する。

変 更 理 由

3. 調査票の整理

1) 返信用封筒の開封と封入枚数の確認

当初の時点では調査規模が決定していなかったため令和3年度に実施した前回調査の数量を参考に数量を設定したが、令和7年度の調査規模が決定した結果、当初数量では調査台数が不足して目標調査台数を達成できないため、令和7年度の調査規模に対応するため数量変更(増)する。

2) 郵送回収の調査票整理(有効・無効判定)

当初の時点では調査規模が決定していなかったため令和3年度に実施した前回調査の数量を参考に数量を設定したが、令和7年度の調査規模が決定した結果、当初数量では調査台数が不足して目標調査台数を達成できないため、令和7年度の調査規模に対応するため数量変更(増)する。

3) 調査票整理

当初の時点では調査規模が決定していなかったため令和3年度に実施した前回調査の数量を参考に数量を設定したが、令和7年度の調査規模が決定した結果、当初数量では調査台数が不足して目標調査台数を達成できないため、令和7年度の調査規模に対応するため数量変更(増)する。

4) エディティング

当初の時点では調査規模が決定していなかったため令和3年度に実施した前回調査の数量を参考に数量を設定したが、令和7年度の調査規模が決定した結果、当初数量では調査台数が不足して目標調査台数を達成できないため、令和7年度の調査規模に対応するため数量変更(増)する。

5) コーディング

当初の時点では調査規模が決定していなかったため令和3年度に実施した前回調査の数量を参考に数量を設定したが、令和7年度の調査規模が決定した結果、当初数量では調査台数が不足して目標調査台数を達成できないため、令和7年度の調査規模に対応するため数量変更(増)する。

6) Webコーディング

当初の時点では調査票におけるWeb回答の数量が未確定であったため計上していなかったが、調査が終了しWeb回答の数量が確定したため新規増工する。

7) データ入力前チェック

当初の時点では調査規模が決定していなかったため令和3年度に実施した前回調査の数量を参考に数量を設定したが、令和7年度の調査規模が決定した結果、当初数量では調査台数が不足して目標調査台数を達成できないため、令和7年度の調査規模に対応するため数量変更(増)する。

8) データ入力

当初の時点では調査規模が決定していなかったため令和3年度に実施した前回調査の数量を参考に数量を設定したが、令和7年度の調査規模が決定した結果、当初数量では調査台数が不足して目標調査台数を達成できないため、令和7年度の調査規模に対応するため数量変更(増)する。

9) 路線バス転記作業

当初の時点では調査票に転記する輸送実績報告書の数量が未確定であったため計上していなかったが、調査が終了し路線バス転記作業の数量が確定したため新規増工する。

4. 直接経費

1) お願いハガキ郵送(第一郵送物件)

当初の時点では調査規模が決定していなかったため令和3年度に実施した前回調査の数量を参考に数量を設定したが、令和7年度の調査規模が決定した結果、当初数量では調査台数が不足して目標調査台数を達成できないため、令和7年度の調査規模に対応するため数量変更(増)する。

2) 調査物件の発送(第二郵送物件)

当初の時点では調査規模が決定していなかったため令和3年度に実施した前回調査の数量を参考に数量を設定したが、令和7年度の調査規模が決定した結果、当初数量では調査台数が不足して目標調査台数を達成できないため、令和7年度の調査規模に対応するため数量変更(増)する。

3) 調査物件の返送(第二郵送物件)

当初の時点では調査規模が決定していなかったため令和3年度に実施した前回調査の数量を参考に数量を設定したが、令和7年度の調査規模が決定した結果、当初数量では調査台数が不足して目標調査台数を達成できないため、令和7年度の調査規模に対応するため数量変更(増)する。

4) お礼ハガキ郵送(第三郵送物件)

当初の時点では調査規模が決定していなかったため令和3年度に実施した前回調査の数量を参考に数量を設定したが、令和7年度の調査規模が決定した結果、当初数量では調査台数が不足して目標調査台数を達成できないため、令和7年度の調査規模に対応するため数量変更(増)する。